
Super Dolphin Project

運営基盤

Seagaia Meeting in KYOTO

2004

中島裕生

これまでの経緯

- 3月17日プロジェクト検討キックオフミーティング開催
 - 主催者側出席者
 - 京都大学 吉原教授
 - 東京都医師会理事 大橋先生
 - 宮崎医科大学 荒木教授
 - NPO MedXMLコンソーシアム 中島裕生
 - 参加企業 12社 + 1NPO法人
 - ニッセイ情報テクノロジー、セコム、東京電力、ベルシステム24、東京三菱銀行、三井住友銀行、トーマツコンサルティング、NTTコミュニケーション、コニカミノルタフォトイメージング、日本経済新聞社、新日鉄ソリューションズ、NTTマーケティングアクト、NPO TEAMNET
- 3月31日フォローアップミーティング開催

ミーティング内容

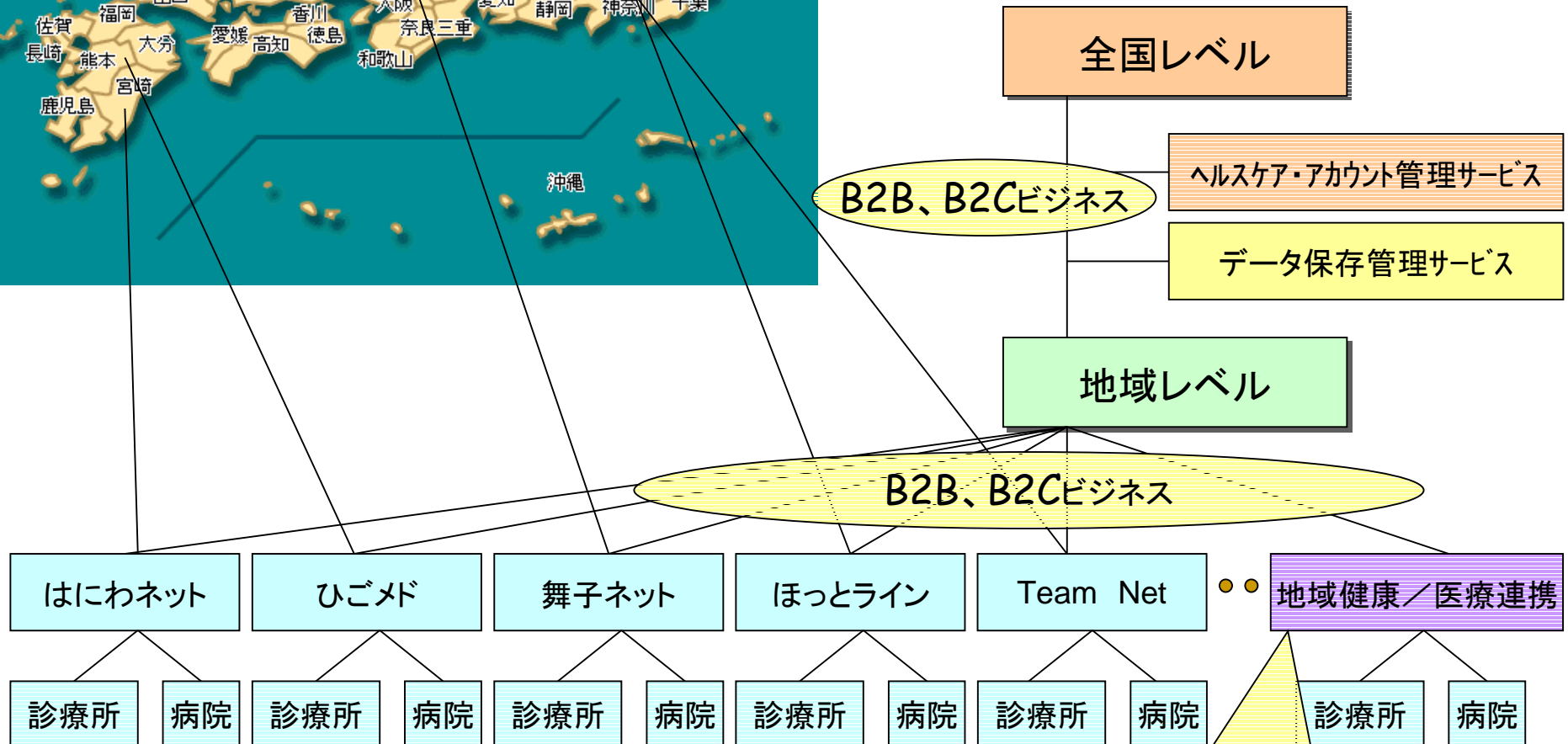
- ①**全国レベルの医療情報基盤サービスのあり方**
ニューコンセプト提供: 吉原先生、大橋先生
＜コンセプト概要＞
 - 吉原先生 ”全国レベルの連携医療サービス基盤立ち上げの必要性とビジネスモデル”
<http://fc.kuh.kumamoto-u.ac.jp/~yoshi/sdp/>
 - 大橋先生 ”将来へ向けた構想「健康ノート」”
<http://www.ocean.shinagawa.tokyo.jp/hot/index.html>

- ②**サービス継続のための経営基盤のあり方**
 - 新ビジネスのデザイン、ビジネスモデル検討の進め方、組織運営形態について、スケジュール
 - 荒木先生 ”宮崎ウェルネス事業”
 - 中島裕生 ”Dolphinの持つビジネス要素とその発展”

- ③**SuperDolphin Project運営組織の立ち上げについて議論**

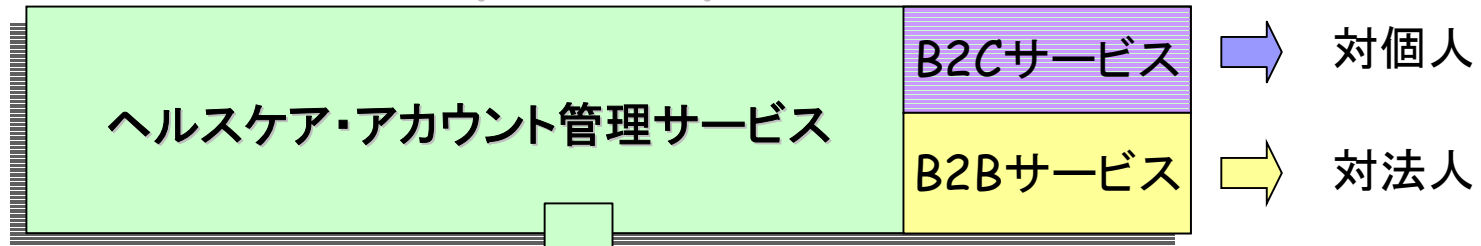


Super Dolphin の構成

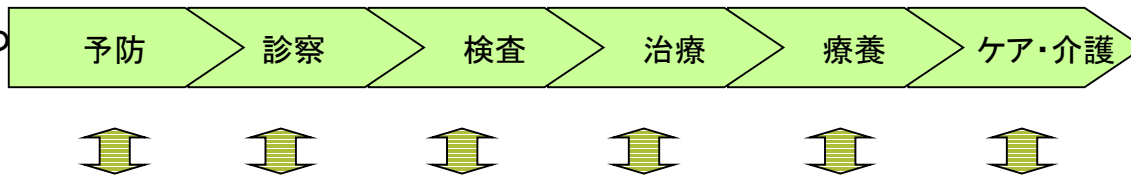


低コストゲートウェイ方式
(ポータルサイト) 普及

Super Dolphin



個人のライフ
サイクルに亘つ
たヘルスケア
情報管理

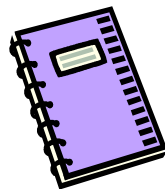


ディレクトリ・サービス



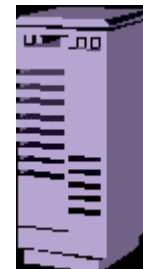
予防(健康増進、美容)、診察、検査、治療、療養、ケア・介護に関する個人ヘルスケア情報の所在地管理と具体的参照、ヘルスケアに関係する従事者(医師、医療機関を含む)の **who's who**

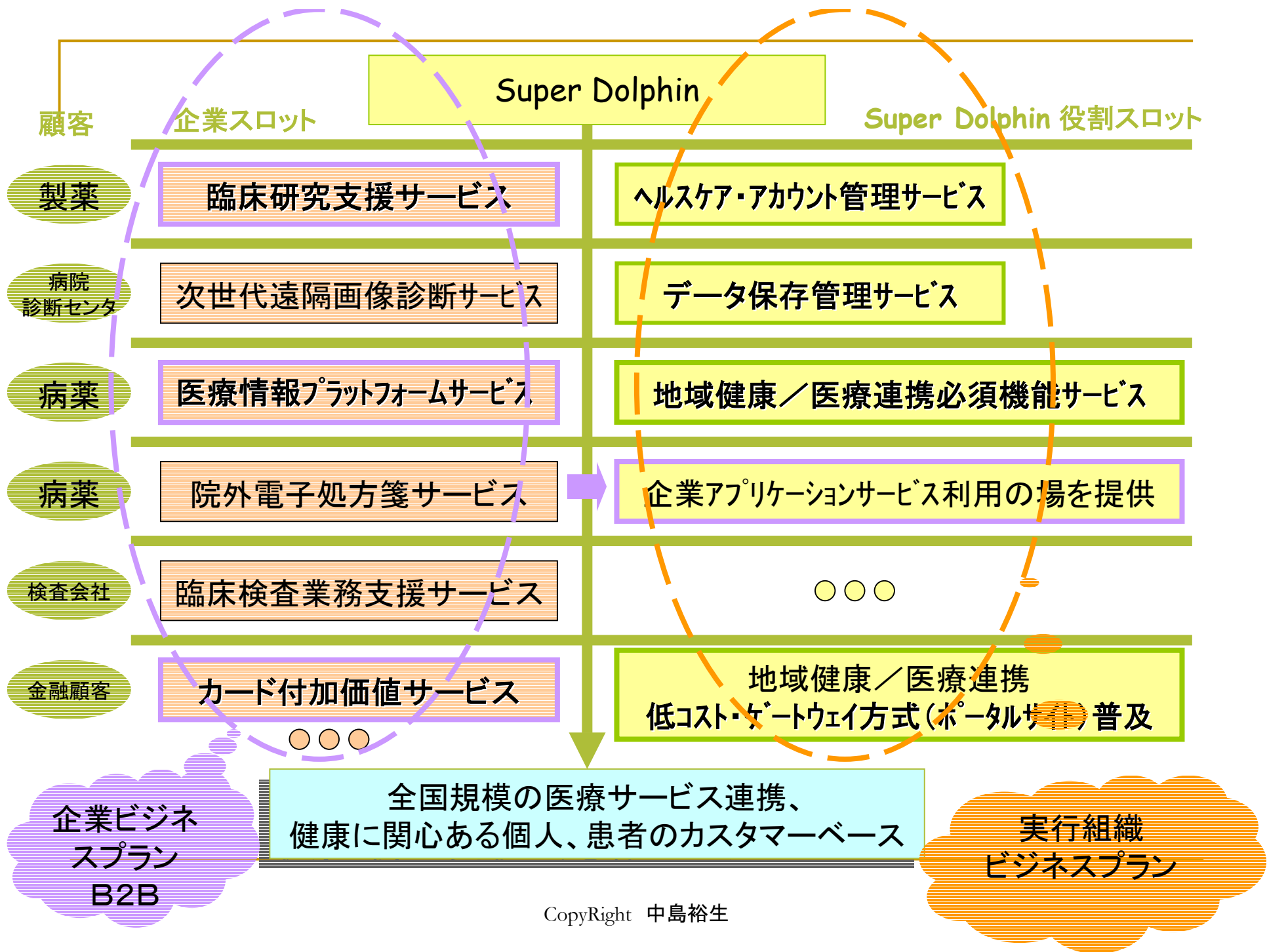
健康ノート・サービス

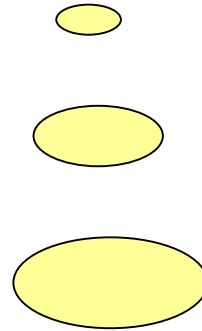


個人向けディレクトリサービスと、ヘルスケア情報の転記と医師による説明記録、個人健康記録

データ保存 管理サービス







Super Dolphin Project

18社、1NPO法人、

1工業会(5月7日現在)

今後の進め方

- Super Dolphin WG(SDW)役割
 - 運営組織検討
 - 営利/非営利、法人形態、出資/投資受け入れ...
 - ビジネスプラン策定
 - 有志メンバー作成による“SuperDolphin 運営組織”原案について検討
- Enterprise Slot WG(ESW)役割
 - 有力なサービス発掘
 - 各ビジネスプラン策定
 - 技術上、行政上の実現性検討
- 今年度内実現に向けて、実現サービスに対応したスーパードルフィンのインフラでスタート

